

交通のご案内

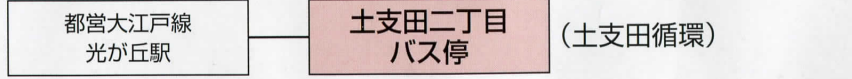
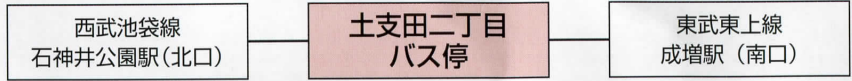


※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

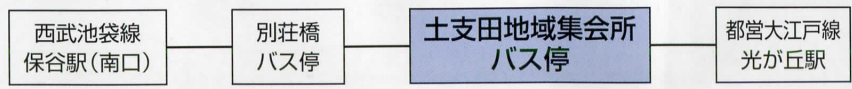
■ 清水山の森 (練馬区大泉町 1-6)

バスルート

西武バス・国際興業バス (土支田二丁目バス停から徒歩3分)



練馬区みどりバス (別荘橋バス停から徒歩5分、土支田地域集会所バス停から徒歩4分)



問い合わせ先：練馬区土木部西部公園出張所 電話 03-3904-7557 (直通)

清水山の森

しみずやまのもり

カタクリ



23区で唯一の
大規模な
カタクリ群生地!

練馬区

清水山の森は、23区唯一の大規模なカタクリ群生地

白子川流域の斜面林に「カタクリが自生している」と、昭和49年6月に区民の方から情報が寄せられました。翌春に群生するカタクリを区で確認し、この貴重な自然を長く保全しようとして、昭和51年に「清水山憩いの森」として整備しました。

平成29年3月、23区唯一の大規模なカタクリ群生地である「清水山の森」の貴重な自然を確実に未来につなげるため、さらにカタクリが自生しやすい環境を整備しました。

整備にあたっては、人工物をできるだけ作らず、自然を残した公園づくりとしました。



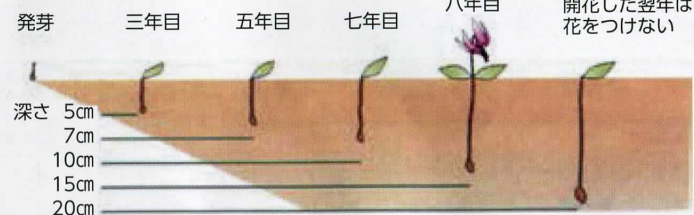
カタクリ〈3月下旬～4月上旬〉

カタクリの花の見頃はソメイヨシノとほぼ同時期です。暖かな晴れた日の日中にのみ花を開きます。曇りや雨の日、寒さの厳しい日は、花は閉じたままになります。

カタクリについて

- カタクリはユリ科に属する多年草で、地下にりん茎を持つ球根植物です。
- 花は、2枚の葉の間から出る15cmほどの茎に、下向きに1個つきます。やや紫がかった紅色で花弁は6枚。花弁の内側の濃い紅色の模様は、花の蜜がある場所を示すといわれています。一株の開花期間は1週間程度です。
- 種子から開花まで7～8年かかるといわれ、発芽1年目は針のような葉をつけます。その後数年間は一枚葉で、次第に生長し、最後に二枚葉を出して花を咲かせます。自然の状態では花をつけた翌年は一枚葉となり、開花を休みます。

■カタクリの生長



- カタクリの芽は、2月下旬頃から地上に芽を出し始めます。3月中旬頃までに出る茶褐色の芽は一枚葉に生長しますが、花は咲きません。3月中旬頃から二枚葉になる芽が出てきて、この芽が花をつけます。4月中旬頃まで次々と花を咲かせ、その後結実期に入り、5月中旬頃までに葉が枯れて地表から姿を消します。このように、約2か月という限られた地上での生活の間に、りん茎は養分を蓄え、生長しながら少しずつ地中に潜り、地表下15～20cmの深さに定着します。
- カタクリといえば片栗粉を連想しますが、昔はその名のとおり、カタクリのりん茎から採れる良質のでんぷんが使われていたそうです。ちなみに現在の片栗粉はジャガイモのでんぷんから作られています。

清水山の森マップ

カタクリの開花期のみ、赤線内の園路を午前9時から午後5時まで開放します。



ニリンソウ
〈3月下旬～4月下旬〉



キクザキイチゲ
〈3月下旬～4月下旬〉



ヤマユリ
〈6月中旬～7月中旬〉

清水山の森では、
いろいろな野草も
見ることができます。



キツネノカミソリ
〈7月中旬～8月中旬〉



ヒトリシズカ
〈4月上旬～4月中旬〉



清水山の湧水

園内には東京の名湧水57選に
選ばれた湧水も流れています